

有害動植物の検出・同定技術の開発

栽培地検査を要するなど、形態等での識別が困難な重要病害虫種を遺伝子情報に基づき24時間以内に検出・同定できる**検疫病害虫統合情報データベースシステム**を構築

【背景】温暖化、ヒト・モノの動きのグローバル化・高速化により、新たな病害虫の侵入リスクが増大、迅速な対応が必要。一方で対策決定に必要な病原体・害虫の同定には、専門家(同定の匠)・時間(培養・飼育)・空間(隔離施設等)の制約が大。

検疫病害虫統合情報データベースシステム

